



CHAPTER 6

Cisco Unity Connection 8.x でのサービスクラスの追加、変更、または削除

サービスクラス (CoS) は、ボイス メールボックスがあるアカウントの制限と権限を定義します。たとえば、COS によって、次のような処理が行われます。

- Cisco Unity Connection Web Inbox (Connection 8.5 以降) または Messaging Inbox (Connection 8.0) などのライセンスされている機能へのユーザ アクセスを制御します (COS に個別のライセンスが必要な機能へのアクセスが含まれている場合は、十分なライセンスが使用可能な場合にのみ、ユーザのグループを COS に割り当てることができます)。
- パーソナル着信転送ルールなどのライセンスされていない機能へのユーザ アクセスを制御します。
- ユーザによる Connection の操作方法を制御します。たとえば、COS で、ユーザのメッセージとグループの最大長と、ユーザが社内ディレクトリへの掲載を選択できるかどうかを指定します。
- 着信転送オプションを制御します。
- ユーザに許可するプライベート同報リストの数と、リストあたりに許可するメンバーの数を指定します。
- ユーザがコールの転送と発信時に使用可能な電話番号を制御する規制テーブルを指定します。

COS は、ボイス メールボックスがないユーザ (これらの多くは管理者アカウント) に関連付けられた個別のアカウントまたはテンプレートに対して指定されません。代わりに、管理者アカウントに関連付けられた権限は Connection の管理 内の役割で制御されます (詳細については、「[Cisco Unity Connection 8.x における役割](#)」(P.2-4) を参照してください)。

次の項を参照してください。

- 「[Cisco Unity Connection 8.x のデフォルト サービス クラス](#)」(P.6-2)
- 「[Cisco Unity Connection 8.x でのサービス クラスの追加](#)」(P.6-2)
- 「[Cisco Unity Connection 8.x でのサービス クラス設定の変更](#)」(P.6-2)
- 「[Cisco Unity Connection 8.x でのユーザのサービス クラスへの割り当てと再割り当て](#)」(P.6-3)
- 「[Cisco Unity Connection 8.x でのサービス クラスの削除](#)」(P.6-5)

Cisco Unity Connection 8.x のデフォルト サービス クラス

Cisco Unity Connection には、次の変更はできるが削除はできない、事前定義のサービス クラスが付属しています。

ボイスメール ユーザの COS (Voicemail User COS)	エンド ユーザに適用可能な設定が含まれています。デフォルトで、この COS はデフォルト ボイスメール ユーザ テンプレートに関連付けられます。
システム (System)	特別なデフォルト ユーザ アカウントがメンバーの COS。この COS は読み取り専用で変更または削除できません。

Cisco Unity Connection 8.x でのサービス クラスの追加

サービス クラスを作成するには

- ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、[サービス クラス (Class of Service)] を展開してから、[サービス クラス (Class of Service)] を選択します。
- ステップ 2 [サービス クラスの検索 (Search Class of Service)] ページで、[新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 3 [サービス クラスの新規作成 (New Class of Service)] ページで、必要に応じて、設定を入力します。



(注) * (アスタリスク) の付いたフィールドは必須です。

- ステップ 4 [保存 (Save)] を選択します。

Cisco Unity Connection 8.x でのサービス クラス設定の変更

COS の設定はいつでも変更できます。COS 内の設定 (ユーザ ライセンスが必要な機能を含む) を変更すると、その COS の新しいメンバーと既存のメンバーに影響します。たとえば、COS のメンバーがライセンスされた機能にアクセスすることができ、COS を変更してその機能へのアクセスを削除した場合は、次にユーザが Cisco Unity Connection にサインインしたときにその機能にアクセスできなくなります。

COS を変更するには、該当する手順を実行します。

- 「サービス クラスの設定を変更するには」 (P.6-2)
- 「一括編集モードでサービス クラスの設定を変更するには」 (P.6-3)

サービス クラスの設定を変更するには

- ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、[サービス クラス (Class of Service)] を展開してから、[サービス クラス (Class of Service)] を選択します。

ステップ 2 [サービス クラスの検索 (Search Class of Service)] ページで、該当するサービス クラスの表示名を選択します。



(注) サービス クラスが検索結果表に表示されない場合は、ページの最上部にある検索フィールドで該当するパラメータを設定して、[検索 (Find)] を選択します。

ステップ 3 [サービス クラスの新規作成 (New Class of Service)] ページで、必要に応じて、設定を変更します。

ステップ 4 [保存 (Save)] を選択します。

サービス クラスに使用可能な機能の詳細については、「[Cisco Unity Connection 8.x のサービス クラスで制御される機能のセットアップ](#)」を参照してください。

一括編集モードでサービス クラスの設定を変更するには

ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、[サービス クラス (Class of Service)] を展開してから、[サービス クラス (Class of Service)] を選択します。

ステップ 2 [サービス クラスの検索 (Search Class of Service)] ページで、該当するサービス クラスのチェックボックスをオンにして、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。

まとめて編集するサービス クラスが複数の検索ページに表示される場合は、最初のページで該当するすべてのチェックボックスをオンにしてから、次のページに移動して該当するすべてのチェックボックスをオンにします。同様の操作を該当するすべてのサービス クラスを選択するまで繰り返します。次に、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。

ステップ 3 設定に変更を加えるには、フィールド名の左にあるチェックボックスをオンにして選択してから、通常どおりフィールドを設定します。

[ヘルプ (Help)] > [このページ (This Page)] を選択して、各フィールドの設定に関する詳細情報を表示します。

(注) [サービス クラスの編集 (Edit Class of Service)] ページの最上部に表示されるステータスメッセージは、編集しているサービス クラスの数を示しています。また、このページには一括モードで編集可能なフィールドだけが表示されています。

ステップ 4 必要に応じて、一括編集タスク スケジュール フィールドを設定して、後日または後で実行する一括編集処理のスケジュールを作成します。

ステップ 5 [送信 (Submit)] を選択します。

Cisco Unity Connection 8.x でのユーザのサービス クラスへの割り当てと再割り当て

COS はユーザ テンプレートごとに指定されます。そのため、ユーザは、そのユーザ アカウントに基づくテンプレートで指定された COS に割り当てられます。特定の COS の設定が個々のユーザまたは何人かのユーザに適さなくなっていることが判明した場合は、いつでもユーザを別の COS に再割り当てすることができます (テンプレートで指定された COS を変更してもすでに作成されているユーザ アカウントには影響しません)。




(注)

COS に個別のライセンスが必要な機能へのアクセスが含まれている場合は、十分なライセンスが使用可能な場合にのみ、ユーザのグループを COS に割り当てることができます。

ユーザを COS に再割り当てする場合は、次の手順のいずれかを実行します。

- 「ユーザをサービス クラスに割り当てる、または再割り当てするには」 (P.6-4) : この手順は、単一のユーザ アカウントの COS を変更する場合に実行します。
- 「複数のユーザをサービス クラスに再割り当てするには」 (P.6-4) : この手順は、一度に最大で 25 人のユーザを別の COS に再割り当てする場合に実行します。

ユーザをサービス クラスに割り当てる、または再割り当てするには

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[ユーザ (Users)] を選択します。
- ステップ 2** [ユーザの検索 (Search Users)] ページの [検索結果 (Search Results)] テーブルで、該当するユーザのエイリアスを選択します。
-  (注) ユーザ エイリアスが検索結果表に表示されない場合は、ページの最上部にある検索フィールドで該当するパラメータを設定して、[検索 (Find)] を選択します。
- ステップ 3** [ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページの [サービス クラス (Class of Service)] リストで、該当するサービス クラスを選択します。
- ステップ 4** [保存 (Save)] を選択します。

複数のユーザをサービス クラスに再割り当てするには

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[サービス クラス (Class of Service)] を展開してから、[サービス クラスのメンバシップ (Class of Service Membership)] を選択します。
- ステップ 2** [サービス クラスのメンバーの検索 (Search Class of Service Members)] ページで、ユーザを移動する COS に従って [サービス クラス メンバーの検索 (Find Class of Service Members)] フィールド内のパラメータを設定してから、[検索 (Find)] を選択します。
- ステップ 3** [サービス クラス メンバーの検索結果 (Class of Service Members Search Results)] 表で、別の COS に移動するユーザ エイリアスの左側にあるチェックボックスをオンにします。一度に最大で 25 人のユーザを移動できます。
- ステップ 4** [宛先 (To)] リストで、**ステップ 3** で選択したユーザを移動する COS の名前を選択します。
- ステップ 5** [選択されたユーザの移動 (Move Selected User)] を選択します。

Cisco Unity Connection 8.x でのサービス クラスの削除

COS を削除する場合は、先に、その COS のすべてのメンバーを別の COS に再割り当てする必要があります。次の「サービス クラスを削除するには」の手順を実行します。

サービス クラスを削除するには

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[サービス クラス (Class of Service)] を展開してから、[サービス クラスのメンバシップ (Class of Service Membership)] を選択します。
- ステップ 2** [サービス クラスのメンバーの検索 (Search Class of Service Members)] ページで、削除するサービス クラスに従って [サービス クラス メンバーの検索 (Find Class of Service Members)] フィールド内のパラメータを設定してから、[検索 (Find)] を選択します。
- ステップ 3** [サービス クラス メンバーの検索結果 (Class of Service Members Search Results)] 表で、別のサービス クラスに移動するユーザエイリアスの左側にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** [宛先 (To)] リストで、**ステップ 3** で選択したユーザを移動するサービス クラスの名前を選択します。
- ステップ 5** [選択されたユーザの移動 (Move Selected User)] を選択します。
- ステップ 6** [サービス クラス メンバーの検索結果 (Class of Service Members Search Results)] 表に削除するサービス クラスのメンバーが表示されなくなるまで、**ステップ 3** ~ **ステップ 5** を繰り返します。



(注) [検索結果 (Search Results)] 表に反映させるべき変更の場合は、[更新 (Refresh)] を選択する必要があります。

- ステップ 7** [サービス クラス (Class of Service)] を展開してから、[サービス クラス (Class of Service)] を選択します。
- ステップ 8** [サービス クラスの検索 (Search Class of Service)] ページで、削除するサービス クラスの表示名の左側にあるチェックボックスをオンにします。



(注) サービス クラスが検索結果表に表示されない場合は、ページの最上部にある検索フィールドで該当するパラメータを設定して、[検索 (Find)] を選択します。

- ステップ 9** [選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
- ステップ 10** [OK] を選択して削除を確認します。

